

海外留学帰国報告書

氏 名 : 高山 千尋

留学期間 : 2015年3月 ~ 2015年7月

1. 出国前の準備

◇ 留学の目的

広い世界をみるため。いましか経験できないことを経験するため。

ドイツ語や英語を話さなければ生活できない環境に身を置くことで生きた語学力を身につけるため。

◇ 学習計画

Tandem と語学コースでドイツ語を、他国からの留学生との関わりと語学コース、専門科目の受講により英語を学ぶ。

◇ 入学許可申請

2年生の春期に留学に応募し（所定用紙などの提出）、その後日本語英語ドイツ語の面接を受け、決定。ブレーメン経済工科大学（HSB: Hochschule Bremen）へは大学を通じて入学許可申請。

数ヶ月後、HSB から直接自宅に入学許可書が郵送されてきます。（Eメールでも同じ内容がPDFで送られてきます。）入学許可書は留学決定後、奨学金の申請などで必要な書類となりますが、届くのが奨学金申請期間ぎりぎりになることもあります。商学部事務室の担当の方が親切に対応してくださいますので、困ったことがあったら早めに相談しておくべきだと思います。

◇ 外国語能力

・ ドイツ語

ドイツ語検定2級

文法をしっかり学んでおいたことは、HSBの語学コースで役に立ちました。

もっとやっておけばよかったことは、語彙力を身につけることとリスニングです。

私は語彙が少なく他国からの留学生の語彙力に圧倒されました。

・ 英語

TOEIC 650点

日常会話程度の英語が話せなければかなり苦労します。私は、かなり苦労しました。専門科目の英語講義には英語のネイティブスピーカーの留学生ももちろん参加します。負けずに発言するためにはそれなりの知識と語学力が必要になります。

しっかり学習して、身につけておくことをおすすめします。(受講予定の科目で使われるであろう専門用語も知っておくとなおよし。)

◇ 留学費用

支出内訳	渡航費 往復	約 15 万円
	生活費	約月 8 万円×5 ヶ月= 約 40 万円 (家賃月約 4 万円含む)
	保険代	約 7 万円
	その他	約 13 万円
収入内訳	明治大学学生外国留学奨励奨学金	15 万円
	JASSO 海外留学支援奨学金	月 8 万円×5 ヶ月=40 万円
	その他奨学金	月 4 万円×5 ヶ月=20 万円

◇ 奨学金

私は上記の奨学金を受給させていただきました。私は両親に経済的負担をかけずに留学したかったので、これらの奨学金制度を受給させていただけたことは大変ありがたかったです。

◇ ビザ・住民登録

住民登録は **Bürgeramt Bremen Bürger Service Center-Mitte** で行います。住んでいる家の情報をすべて控えたうえで、手続きをしに行きます。かなり人で混み合う場所なので、朝早くに行くか、一度行って予約をするか、が必要になります。

ビザ申請は **Universität** にある **BSU** というところで行います。必要な書類の中には、事前に日本の大使館で申請が必要であるものも含まれていますので注意してください。

◇ 健康保険

私は現地で **TK** に入りました。入学前のオリエンテーションの際に、**AOK** と **TK** の担当者の方も来ているので、簡単に保険に加入することができます。その後、保険証のことなどで何か保険会社の人と会って話がしたい場合は、**Universität** にオフィスをかまえているので、そこでコンタクトがとれます。

2. 協定校での諸手続き

履修登録については、現地で詳しく説明があります。簡単に説明しておく、専門科目の履修登録は **Qis-Pos** というシステムを使って行います。基本的には明治のオンライン履修登録システムのようなものですし、オリエンテーションで詳しい説明もありますので心配しなくて大丈夫です。語学の履修登録は所定の用紙に記入して、紙面での登録になります。英語でのオリエンテーションのあと、おそらく日本人学生には日

本語で個別に説明がありますので、安心してください。(現地で日本語の授業をされている松井先生がエアレヴァインさんと一緒に説明して下さるはずですが、もし、わからないことがあれば、エアレヴァインさんはもちろん、松井先生も相談に乗ってくださると思います。)

3. 宿舎と日常生活

宿舎については、早くから探しておくことが大切だと思います。into-room という、大学付近の空き家リストののっているサイトがあり、そこから大家さんと直接メールで連絡をとって住居を決める方法か、寮に住むのが一般的かと思います。Into-room のサイト URL は、大学からメールで送られてくるか、送られてこない場合、自分で催促して送ってもらう必要があります。

住居を決める際は、Hochschule Bremen へのアクセスがいいことを重視すると、生活にも便利かと思います。個人的には Neustadt と呼ばれる地域に住むのが、Hochschule Bremen や City center にも近く、生活に便利なスーパーも多いのでおすすめです。先輩やブレーメンから留学に来ている学生にアドバイスをもらって、日常生活が過ごしやすい地域に住むことが、留学生生活を円滑に進めるうえで重要だと思います。

4. 協定校のカリキュラム・履修した授業、課外活動、留学の成果

◇ 協定校のカリキュラム・履修した授業

Hochschule Bremen では、語学コース(基本的に午後遅めの時間帯)、留学生専用の英語での授業、現地学生も参加する英語での授業、ドイツ語での授業、土日の何度かだけ行われる集中講義の、などの授業を履修することができます。

私は以下の授業を履修しました。

語学コース : English B2.1 , Deutsch B1.1

英語の授業 : Global Marketing , European Integration , Bremen and the World,
Indonesian Economy: the Rising Economic Power

◇ 課外活動

私は参加しませんでした。Hochshule Bremen では様々な activity が用意されています。参加には申し込みが必要になりますが、大学でまとめてチケットなどを買うので、かなりお得な内容になっています。

◇ 留学の成果

留学を終え、語学に関しては特にドイツ語力をのばすことができたと思います。ドイツ語は文法にとらわれ口にすること自体を敬遠しがちでしたが、相手に伝えるためにまずは何か話してみる、話してみるとネイティブスピーカーの彼らが正しい文になおして教えてくれるということを繰り返しているうちに、正しい文法で話す力を向上させることができました。また、現地でおこなった Tandem のおかげで得たものは大きいと思います。Tandem では相互に語学を教え合うだけでなく、現地の生活や文化などを教えてもらうことができました。他国での生活を通して、日本という国を初めて客観的に見ることができました。そのことは、自分自身のこれまでの考え方を大きく変えるきっかけになりました。新たな視点で物事を見ることができるようになったことは、留学で得ることのできた大きな収穫だと思います。

5. 帰国準備・帰国後の手続き

帰国の手続きは、住民登録の解除、銀行口座の解約、保険の解約です。住民登録の解除は、住民登録を行った時とほぼ同じ手順で行います。住民登録の際同様、かなり混雑することが予想されるので、朝早めに行くといいと思います。銀行口座は簡単に解約できるので、あまり時間はかかりません。保険は最初に一括で支払っている場合は、解約の必要がありませんが、月払いの場合は解約手続きの必要があります。私は Universität にある保険のオフィスで行いました。必要書類の関係で、何度か訪れる必要があるかもしれないので、早めに行っておくといいと思います。

6. 商学部生へのメッセージ

留学を終えたいま、言える率直な気持ちは、留学して本当によかった、ということですよ。海外で半年以上も過ごす経験ができる機会は、学生のいまを逃すとなかなかめぐってこないと思います。その機会は、自分を大きく変化させてくれる、成長させてくれるチャンスに等しいと言えます。

もし留学をしてみたいと思っているのに、一步踏み出せないでいる人がいれば、その障壁は何でしょうか。語学に自身がないからでしょうか？語学をのばすために留学するのは。経済的困難が理由でしょうか？明治大学には多くの奨学金制度が用意されており、きっとあなたを支援してくれます。

留学は自分の強い意志があれば、誰にでもチャンスがあるものだと思います。また、その強い意志さえあれば、留学で多くのものを得ることができると思います。

人生で一番大変で楽しい半年間・一年間を過ごしてきてください。